

<一般社団法人福島県法人会連合会会長賞>

期待のこめられた教科書

小野町立小野中学校 三年 根本 夏海

「教科書にらくがきをしてはいけません。」

誰しもが一度は耳にする言葉だと思う。なんでらくがきをしてはいけないのか小学生の私には分からなかった。しかし今は、はっきり分かる。税金で購入し支給されているものだからだ。

今の日本では、小学校・中学校の義務教育の間で使う教科書は無償で支給されている。小さい頃の私は、教科書は元々無料のものだと思いこんでいた。なぜなら、教科書の裏には必ず「¥00000」と書いてあったからだ。それに加えて、まだ「税金」という言葉を知らなかった。しかし、それから数年経って私がお小遣いをもらって自分で買い物をするようになった時、初めて税というものに触れた。その頃、ちょうど消費税が八パーセントから十パーセントに引き上げられた。私がいつも買っていたシールの値段が上がったのだ。私は衝撃を受けた。それと同時に、なんで高くなったのと少し不満があった。そこで私は両親に、なんで値段が上がったのか聞いた。二人とも「消費税が引き上げられたからだよ。」と答えた。それから私は、消費税なんか知らないじゃんという考えを持つようになった。

さらに数年後、中学校で税金について学ぶ機会があった。正直、私は乗り気ではなかった。税金に対して負の印象しか持っていなかったからだ。しかし、この印象は大きく変わった。税金によって私達の生活が豊かになっていることが分かったからだ。私は税金なんて必要ないと思っていた。しかし、税金がなかったら、警察のパトロールやごみ収集が有料になったり、病院代や授業料が今より高額になってしまう。さらに、私が一番衝撃を受けたのが、教科書が有料になってしまうことだ。教科書というのは、今の子ども達がたくさん勉強して将来、社会のためにはたらくことを願って支給されていると聞いた。その後私は教科書裏表紙を見てみた。そこには、

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」

と書いてあった。

私は、これから絶対に教科書にらくがきしたり無駄に折ったりと雑な扱いをしないと心に決めた。教科書を雑に扱うということは、お金を雑に扱うことと同じだと思う。そして、私が心に決めたのはお金のためだけではない。恩を返すためだ。国は私達が将来社会のために活躍することを期待してくれている。その期待を裏切らないために私は勉強に集中したい。そして、いざ社会に出て自分が様々な税金を納めなくてはならなくなった時、私は子ども達の将来に期待して快く税金を納められるようになりたい。そのために、今は一生懸命勉強する。それが私の義務だ。